

## IIJ-MC、アフリカ南部で観測される皆既日食のインターネット中継を支援

—— 6 月 21 日の皆既日食をアフリカ南部 3 地点からマルチ中継 ——

株式会社アイアイジェイメディアコミュニケーションズ(IIJ-MC)は、2001 年 6 月 21 日にアフリカ南部で観測される皆既日食<sup>(\*)</sup>のインターネット中継プロジェクトに対し、ストリーミング配信分野において技術協力を行います。今回の中継プロジェクトは、ライブ!エクリプス実行委員会が主催となり、産官学の支援により実施される予定です。

<sup>(\*)</sup> 太陽が月に完全に隠される天文現象。太陽周辺の放射状の光(コロナ)などの幻想的な光景が見どころ

今回の皆既日食中継では、アフリカ南部 3 か所で撮影された映像を、都内に設置されたエンコーディングセンターにてリアルタイムで編集し、RealSystem および Windows Media 等により配信する予定です。IIJ-MC ではストリーミング・サーバのほか、IPv4/IPv6 対応のウェブサーバの運用管理を行い、通常のインターネット配信に加えて IIJ グループの「HSMN」<sup>(\*\*)</sup>など複数の CDN (コンテンツ・デリバリー・ネットワーク) 向けに広帯域レートのコンテンツ配信を行う予定です。また 2001 年 1 月に行われた皆既月食のインターネット中継に引き続き、複数の商用・学術系ネットワークにサーバを設置し、DNS サーバの「Tenbin」と経路情報サーバの「RADIX」技術を組み合わせるほか<sup>(\*\*\*)</sup>、各ネットワークにロードバランサーやクラスタリング技術を導入するなど最新技術を用いることにより、広域負荷分散をはかります。

<sup>(\*\*)</sup> RADIX が収集した BGP 経路情報に基づき、DNS サーバである Tenbin が最もユーザから近い WWW サイトの IP アドレスを返す仕組み

<sup>(\*\*\*)</sup> HSMN(High Speed Media Network)。IIJ が運用するブロードバンドに特化したネットワーク

IIJ および IIJ-MC では、数々の実績に裏打ちされた最先端のストリーミング技術を活用し、インターネットによる新しい通信・放送の可能性を切り拓いていきます。

### ■皆既日食インターネット中継内容

ウェブサイト (URL): [www.live-eclipse.org](http://www.live-eclipse.org)

日食時間 (日本時間): 2001 年 6 月 21 日 (木) 20:35~22:35

中継地点: ザンビア(ルサカ)、ジンバブエ(ニヤマパンダ)、マダガスカル(ラノヒラ)

### IIJ-MC について

株式会社アイアイジェイメディアコミュニケーションズは、1995 年に設立され、ウェブ関連の制作・サーバ構築などを幅広く手がけてきました。なかでも 1995 年、日本初となるインターネット中継の商用サービスを立ち上げて以来、インターネットのストリーミング事業において国内有数の実績を残しています。1999 年 7 月には、日米にまたがる広域負荷分散システムを立ち上げ、九州・沖縄サミットの議長国記者会見の様態を世界中に配信しました。

### 報道関係問合せ先

IIJ グループ 広報室 樋笠(ひがさ)

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311 URL: <http://www.iij.ad.jp/> E-mail: [press@iij.ad.jp](mailto:press@iij.ad.jp)